

## 化学学位プログラム 研究指導計画について

カリキュラム 開設授業科目 <http://www.tsukuba.ac.jp/education/>  
シラバス <https://kdb.tsukuba.ac.jp/>

・ **標準履修年次に記載されている年次の科目を履修すること。**（前期の場合、2年次の科目を1年次に履修すると、該当履修年次ではないため削除申請手続きの必要がある）→開設授業科目一覧表（別紙）を参照

### 【博士前期課程 修了要件】

必修科目を含めて 30 単位以上を取得すると共に、修士論文を提出して論文審査に合格すると、修士（理学）の学位が授与される。なお、修士論文は、通常、2年次生の年度末（1月下旬）に提出する。

#### 1. 必修科目

●数理物質科学コロキウム：基礎科目（数理物質科学研究群共通）

1年次生の必修科目。（本年度の開講予定を必ず参照のこと）

●化学セミナーⅠ：専門科目（化学学位プログラム共通）

修士論文の作成および修士論文審査会の準備。

原則として、2年次生で履修申請。

2. 化学特別演習Ⅰ：関連する学会等での研究発表とその準備では、博士前期課程在籍中に研究発表を2件以上行うことで1単位を認定する。（**2年次生で、履修申請することが望ましい。**）
3. 化学特別講義を除いて、開設授業科目表に担当教員名の記載がない授業科目および西暦奇数年度に開講する授業科目は本年度には開講されない。
4. 春学期（4月）入学者は、開設授業科目の中の秋学期入学者用の授業科目は履修申請できない。科目番号を間違えないよう注意すること。
5. 他研究群の授業科目および大学院共通授業科目の単位を取得して、その単位を修了要件に含める場合は、指導教員の承認を受けた上で、「化学学位プログラム（博士前期課程）修了要件授業科目承認書」（書類は理学系事務室 化学大学院教務から受領する）の提出が必要である。体育の科目は不可。
6. 教職の専修免許状を取得する場合は、修士（理学）の学位に加えて、専修免許状取得に必要な単位数を取得する。
7. 曜時限に「集中」と記載されている科目は、開講通知が掲示されてから履修登録すること。（開講通知はTWINSのWeb掲示板「大学院授業に関するお知らせ」に掲示されるため随時確認すること。）

## 【博士後期課程 修了要件】

必修科目を含めて 25 単位以上を取得すると共に、博士論文を提出して論文審査に合格すると、博士（理学）の学位が授与される。

### 必修科目等

#### ●リサーチプロポーザル（必修科目）

博士論文の研究テーマと異なる研究テーマを選び、研究計画を立てて発表する。原則、1 年次生の 11 月と 2 年次生の 6 月の計 2 回の機会が与えられ、どちらか 1 回を選んで発表する。

#### ●化学セミナーⅡ（必修科目）

中間報告会とその準備のための演習であり、通常、2 年次生で行い、博士論文作成の進捗状況を報告する。これに合格した後に博士論文の作成を行う。期間短縮で修了して博士の学位の取得を目指す学生は、時期を繰り上げて履修できる。

#### ●化学特別演習Ⅱ

関連する学会での研究発表とその準備のための演習であり、博士後期課程在籍中に研究発表を 2 件以上行うことで、1 単位を認定する。**3 年次生で、履修申請することが望ましい。**

#### ●化学特別演習Ⅲ（必修科目）

博士論文研究について行われる研究発表とそのための準備をすることによって、研究成果のまとめ方と発表方法を習得する。

### 博士論文

1. 最終学年の 12 月末～1 月初めに博士論文要旨を化学学位プログラムリーダーに提出する。化学学位プログラムでは博士論文予備審査会を開催し、この要旨の内容、単位の取得状況、博士後期課程修了のための要件、博士論文作成のための研究成果等を総合的に検討し、論文提出を認めるかどうかを判定する。
2. 博士論文の提出は、最終学年の 1 月中旬～下旬の予定である。
3. 提出された博士論文は学位論文審査委員会で審査される。化学学位プログラムでは、この審査会を 2 月に公開で行う。
4. 学位論文審査会での審査合格者に対しては、数理物質科学研究群運営委員会での承認を経て、博士（理学）の学位が、3 月に行われる修了式で授与される。
5. 1-4. は、標準的な博士後期課程修了の日程である。3 年間未満で修了して博士（理学）の学位の取得を目指す場合には、随時博士論文を提出して審査を受けることができる。